

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	心的イメージの神経基盤の解明
研究代表者	神谷 之康（京都大学・大学院情報学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	応募者らは視覚対象の脳情報デコーディングと視覚像再構成の研究で国際的に高い評価を受けてきた。本研究は従来の研究を発展させたものであり、心的イメージの脳情報基盤を開発し、想起や夢に現れる詳細なイメージ内容を解析し、意識生成のメカニズムの解明、精神疾患病態の可視化などへの貢献を目指す意欲的な研究である。応募者は本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待される。一部に研究計画が曖昧であり、研究費に見合う成果が得られるか懸念する意見もあったが、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。